

ROUKEN



デイズ（雛菊） Daisy

花名のデイズ（Daisy）は、「day's eye（デイズアイ）」（日の眼）が語源で、太陽の光がさすと花を開いて金色の花芯を見せ、夜や曇りの日には花をすぼめる性質にちなみます。

デイズを国花とする国にはイタリアがあります。日本には明治初期に渡来し、小さくてかわいらしい菊と形容され、雛菊（ヒナギク）と名づけられました。また、花期が長いことから延命菊（エンメイギク）長命菊（チョウメイギク）とも呼ばれています。

デイズ全般の花言葉は「純潔」「美人」「平和」「希望」など。学名の「Bellis（ベリス）」は、ラテン語の「bellus（美しい）」が語源となり、花言葉の「美人」もそれに由来します。「希望」の花言葉は、光がさすと花を開く性質にちなむといわれます。



キク科の多年草（日本では一年草扱い）。園芸植物として栽培され、デイズの開花期は、2～5月（最盛期は3～5月）。花色は赤、ピンク、白、青、紫などがあり、花持ち期間は10～20日程度と長い。

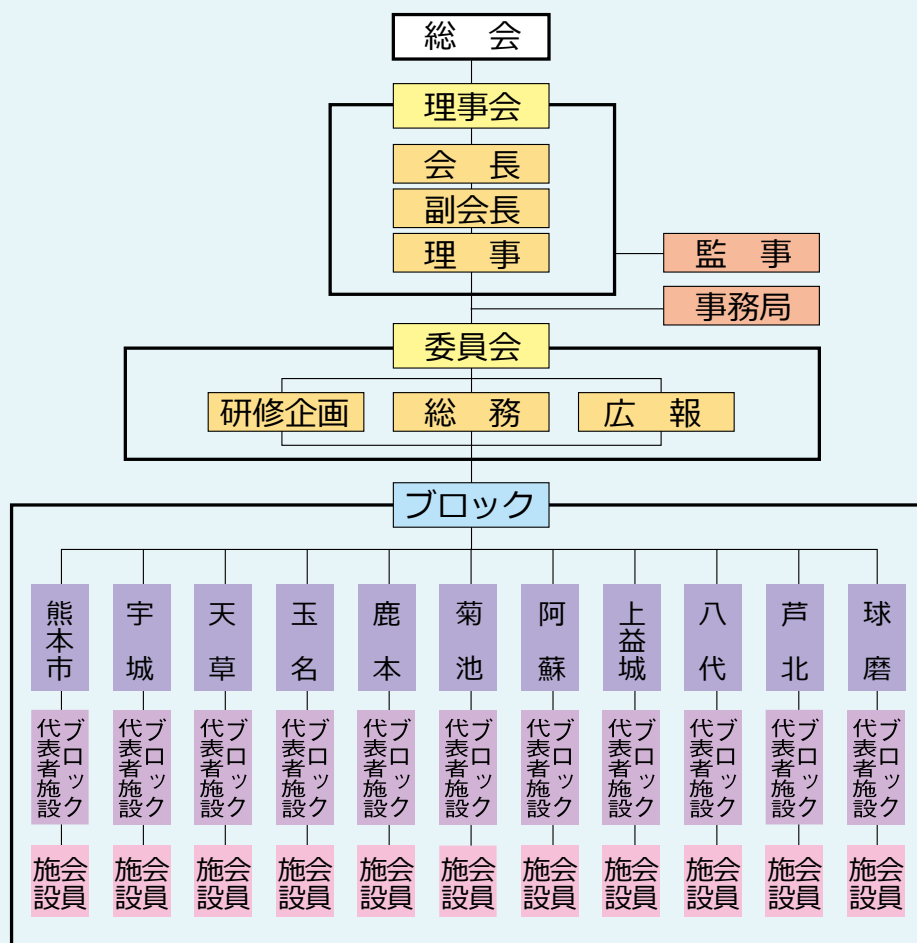
一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

〒868-0041 熊本県人吉市七地町 495 介護老人保健施設リバーサイド御薬園内

TEL 0966-26-3681 FAX 0966-26-3680 E-mail: kmrouken@orange.ocn.ne.jp

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



- 総会 年1回、6月に開催する。
- 理事会 通常理事会(年2回の開催、6月、3月)
臨時理事会(必要に応じて開催する。)
- 委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。
- 研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。
- 広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。
- 各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。
施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

目次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次	2
雑感 ～平成29年度にむけて 理事 保利真理	3
特別講演 2025に向け老健に期待すること～現場を支える人材への期待～	4～5
平成28年度 表彰者挨拶	6～7
熊本県老人保健施設協会会員施設	8～9
施設紹介	10～12
職員基礎研修会 報告とアンケート	13
平成28年4月～平成29年3月までの各ブロック職種別活動の報告	14～15
原稿募集のお願い・編集後記	16

雑感

平成二十九年度にむけて

一般社団法人熊本県老人保健施設協会 理事

保利 真理

平素から、当協会並びに各施設の運営にご支援、ご協力いただきまして、ありがとうございます。

平成二十八年度は、熊本地震に始まりました。被害にあわれた皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。未だ復旧半ばの処も多いかと存じますが、二十九年度は皆様にとつて幸多い年なることを願っております。

熊本地震は前震、本震と熊本に想定外の被害をもたらしました。また、強い前震後の本震と今までの地震災害に対する常識を新たにしたいと言え、まさしく想定外と言えましょう。

地震対応もあつて、話題としては薄れてしまった感じがりましたが、最近では、団塊の世代が後期高齢者に達する二〇二五年問題に対し、地域医療構想が検討さ

れております。二〇十六年度は、策定案のとりまとめが進んでおりました。その中で高齢社会ならでの在宅医療、介護の各地域の課題が浮き彫りになっております。平成十八年厚生労働省の会議資料によりますと、その当時平成二十五年には高齢者人口は約三千五百万人と予測されておりましたが、今やその予測数も三千六百万人を超えております。

他の国の状況を見ますとフランスでは六五歳人口割合が七%から一四%になる年数が二一五年と推定されており日本の二四年と比較しますと雲泥の差です。又、中国はといいますと二五年との予測がされておおり、日本と大差ないようです。これは、中国の一人っ子政策による人工的な少子化が招いたものではないでしょうか。日本は、社会情勢等原因は一概に言えません

が、近々の課題としては高齢化に対応する医療介護問題が無視できません。

高齢者の定義を七五歳以上とする説がニュースで話題となりました。高齢者という言葉の定義が変わったからと言って実態が伴わなければ何も変わったことになりません。

介護老人保健施設の入所通所短期入所などの多機能を発揮して、要介護状態の改善や介護予防の推進に努めていきたいものです。



平成28年度 熊本県老人保健施設大会

期日 平成29年2月9日(木)
会場 KKRホテル熊本

特別講演

公益社団法人 日本介護福祉士会会長 石本 淳也 氏

「2025に向け老健に期待すること

「現場を支える人材への期待」



平成29年2月に開催されました熊本県老人保健施設大会にて、公益社団法人日本介護福祉士会の石本淳也会長から講演をいただきました。

石本様は、老健施設の現場に24年間勤務され、平成28年の4月には日本介護福祉士会の会長に就任され、現在は「わくわく感あふれる介護業界」を目指し、講演や国の会議への出席など幅広く活躍されています。

介護従事者のイメージは「5K」と言われ、ネガティブな側面ばかりが報道され、現在では「8K」で「きつい、きかない、きけん、給料が安い、結婚できない、休日が取れない、休日がない、子どもが産めない」と言われるようになってるのが現状です。そんな厳しい状態でも介護現

場では利用者と接する中に喜びを持って働いている仲間がたくさんいることを、もつと世間へ知ってもらった必要があるとメディアを通じてPRする事の重要性を訴えておられます。

介護の現場は人材不足傾向にあり、有資格者と無資格者、個々の役割を明確にし、介護の質は保ちながら人材確保に努める課題をも抱えているのも現状です。ですから、その課題に向き合い、質を上げるため、介護福祉士自身が「介護の作業員ではない」ことを自覚し、「福祉」という側面をしっかりと見据えることが大切であり、また、多職種との連携の時代の中で介護福祉士自身が国家資格を持つ者として、質も保ちながら他の職種と共通言語で語り

合える関係性が大事であることを強調されました。

現在、全国で150万人の従事者がこの介護業界を支えています。熊本県では、昨年28年の4月末現在、2万5千人の介護福祉士が国家資格を持つ登録者数としています。しかし統計では、介護の仕事に従事していない、もしくは、他の職種として働いているという登録者が約半数を占めています。その人材不足を旧ヘルパー2級の資格者や、実務者研修を修了された方等が従事しているという現状が考えられます。介護される人数増も念頭に置いておかなければなりません。しかし人と財源には限りがあるので、「公助・共助から自助・互助へ」という今後の社会は、大幅な転換期を迎えようとして

平成28年度 熊本県老人保健施設大会

- 開会 会長挨拶：熊本県老人保健施設協会 会長 山田 和彦
来賓挨拶：熊本県健康福祉部長寿社会局 局長 本田 充郎 氏
表彰 会長表彰 授与式
【特別講演】「2025に向け老健に期待すること ～現場を支える人材の期待～」
講師：公益社団法人日本介護福祉士会 会長 石本 淳也 氏
【演題発表】セッション1 発表演題 5題 座長：保利 真理（希望の園 施設長）
セッション2 発表演題 6題 座長：田中 寛美（太陽 リハビリ科科長）
セッション3 発表演題 6題 座長：末藤 榮一（湧心苑 理事長）
セッション4 発表演題 7題 座長：竹村 周記（リバーサイド御薬園 リハビリ部部长）
【市民講座】「介護アシスタントモデル事業への期待」
事業の概要説明：熊本県健康福祉部 長寿社会局高齢者支援課
事業の経過説明：熊本県老人保健施設協会 事務局
実施施設からの発表：吉田 泰仁 氏（なでしこ 事務長）
小林 久仁子 氏（桔梗苑 副施設長）
梅田 三智代 氏（リバーサイド御薬園 統括管理部長）
座長：永廣 研二 氏（青翔苑 副施設長）
【優秀演題表彰・講評】 熊本県老人保健施設協会 理事 末藤 榮一



講演会の様子



石本 淳也 氏

いると説明されました。

2025年の時点で、全国で介護を必要とする人に対して、介護従事者の数は38万人不足するというデータが昨年厚労省から出されており、熊本県では約1,500人不足する見込みを念頭に持つ様うながされました。

介護人材のキーワードに多様な人材を担い手として受け入れる「ダイバーシティマネジメント」がありますが、中でも外国人労働者については、非常にデリケートかつ重要なもので、ひとつは国家資格を目指して取得目的の外国人、もうひとつは技能実習制度で日本の技能を実習生として勉強し自国に持ち帰りますが、人材不足を補うためだけでなく、あくまで実習生であるという正しい理解を求められました。

実際に、外国の方がお嫁に来て、働き先として施設を選び、その中で介護福祉士目指して勉強する方もいます。こういう方々は、貴重な人材として丁寧に受け入れ育てていくのも大事だと話されます。

老健は、最も多職種が集まっている事業職種であり、地域にアウト

リーチし予防的な観点の話や指導、地域づくりへの協力に実効性を持つていける立場です。なので介護業界をとりまく活動や参加に対してその専門職がどう関わって、最終的に地域の住民の方の豊かな暮らしに貢献できるかに注視すべきだと話されました。

最後に、介護福祉士に関する法律には、自己研鑽の義務が一部入っていることを踏まえ、自己研鑽を積むのは、有資格者としての義務であり責務なので、そのための備えが介護福祉士としての特に大きな役割であると説明されました。

今後ますます老健の役割は重要になっていく中で、その拠点として構えるではなく、自分達でアウトリーチし地域に出向く事が大事で、地域の中にはいろんな社会資源があり、そういう所と連携しながら、医療機関や小規模の事業所ともしっかりと有機的につながることのできる関係性を作っていくましようと話され、2025年に向けての人材育成や役割についての重要性をお話し頂き、有意義な特別講演となりました。

セッション 1

1. おおつかの郷	立山真由美	その人がその人らしく過ごす音楽活動とはどういうことか ～音楽療法における様々な音楽活動の構造から考える～
2. 樹心台 ★	加藤 聡美	聴力の低下を伴う認知症の方との関わり ～音楽からの気づき～
3. ケアセンター赤とんぼ	佐伯浩太郎	音楽療法の中で自分の能力を破棄したA氏と職員との 一考察
4. おとなの学校本校	山下 泰寿	聞いて私の生い立ち、私の授業！ ～みんなでハッピー～
5. メディエイト鶴翔苑	山口由里絵	利用者の役割獲得による意識と生活の変化 ～意識の考察～

セッション 2

1. ゆずりは	村上 祐三	震災による入居者への影響と職員の対応 ～環境の変化と転倒について～
2. 清雅苑	當寺ヶ盛 孟	熊本地震における現場での対応について
3. リバーサイド御葉園	吉原 敬彦	熊本地震に伴う避難所へのモバイルデイクア (巡回型通所リハビリテーション)の活動報告と今後の課題
4. ゆずりは	西村 俊彦	震災前後の満足度調査を実施して ～みんなの笑顔がみたいから～
5. おおつかの郷 ★	長山 静香	通所リハにおけるクラブ活動満足度調査と事例の報告
6. 孔子の里	中山 英明	情報共有 ～リハからの発信を～

★は優秀演題発表

セッション 3

1. ゆずりは	北田美成子	集団アクティビティを利用した認知用ケア ～民謡の先生、復活！
2. 平成唯仁館	西上 友紀	安全な入浴サービスへの取り組み ～入浴カードを活用して～
3. 孔子の里 ★	田村 亮二	働きやすい職場環境を目指して ～腰痛アンケートを通して～
4. ひらた苑	内藤由希子	皮膚トラブル改善に向けての取り組み
5. 夢織りの里天草	岩崎 京	夜間の排泄自立に向けて ～センサー除去～
6. 清雅苑	高田 麻央	最期まで「好きなものを食べたい」を叶える ～本人と家族の想いに寄り添って～

セッション 4

1. 清雅苑 ★	梅田友紀子	当館における外食支援の取り組み ～リハビリテーションマネジメントを用いた外食支援～
2. サンライズビル	廣岡 大門	当通所リハビリテーションにおける外出訓練の効果検証 ～リハビリ評価とアンケートに着目して～
3. コスモピア熊本	谷川 結香	ゆとりのある生活の獲得 ～「買い物に行きたい」の実現に向けて～
4. アメニティゆうりん	白濱 里美	家族介護者に寄り添う看護を目指して ～在宅復帰支援の取り組みを通して訪問看護の視点で見たもの～
5. ゆずりは	桑島 尚臣	R4システムと相談援助の展開過程
6. なでしこ	谷口小百合	はい。トイレでできました ～トイレへ行って素晴らしい～
7. ばたん園	宮本 朋美	排泄リハケア体操の導入 ～自分でトイレができるようになっておうちに帰ろう～

平成28年度 厚生労働大臣表彰受賞者

平成28年度表彰者挨拶



リバーサイド御薬園 栄養課長
犬 童 千 恵

この度は、厚生労働大臣表彰という名誉な賞を頂き大変嬉しく思っております。

私は、昭和62年に山田内科胃腸科のとき栄養士として採用されその後リバーサイド御薬園でお世話になって30年になります。

色々苦勞もありましたが、山田理事長、山田貴子理事に支えて頂いたおかげでこのような賞が、頂けたのだと大変感謝しております。

これからも感謝の気持ちを忘れず、初心に戻り利用者の方が、安心できるような食事を提供できるように努めてまいりたいと思っております。

このような名誉な賞を頂き有難うございました。

施設協会会長表彰受賞者

リバーサイド御薬園 リハビリ部長 竹 村 周 記

この度は熊本県介護老人保健施設協会会長表彰を頂きまして大変光栄に存じます。リハビリテーション養成校時代には研修生として施設スタッフの皆様へ御指導を頂き、就職後も多くの方々に御指導を頂きまして深く感謝致します。施設内の業務に加えて、市町村の介護予防事業支援などにも従事して、リハビリテーション専門職として幅広い経験をさせて頂いております。今後も施設と地域に貢献できるよう精進致します。

孔子の里 介護副主任 大 塚 弥 生
孔子の里 介護副主任 上 野 浩 平

熊本県老人保健施設協会会長表彰を頂き、まことにありがとうございます。

表彰を頂いたのも、ご指導下さった方々や、先輩方、同僚の皆様のおかげだと思っております。

このうへは、皆様のご期待に沿うべく、一層の努力をしてまいり所存でございますので、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成唯仁館 管理栄養士 工 藤 春 美

管理栄養士として老人保健施設平成唯仁館の開所(平成6年11月)より勤務しております。

又、くまもと地震を体験した事は、生涯の力にしたいと思います。今回の受賞を大変光栄に思います。新たな気持ちで、頑張っていきます。

樹心台 生活ケア部長 山 本 美智子

このたび栄えある熊本県老人保健施設協会会長表彰を頂戴いたしまして、感謝と喜びの気持ちで一杯でございます。熊本県老人保健施設協会様には、充実した内容の研修会の企画やタイムリーな情報提供を頂き、多くの出会いと学びを深める機会を与えて頂きました。

今後も、熊本県老人保健施設協会の会員であることの自覚を持ち、精進してまいりたいと存じます。このたびは誠にありがとうございました。

樹心台 療養棟科長 坂 本 さゆり

このたびは、熊本県老人保健施設協会会長表彰をいただきまして、誠にありがとうございます。この表彰を受けるに当たり、今まで支え支援して頂いた職場スタッフの皆様にも心からの感謝とお礼申し上げます。

今後も、熊本県老人保健施設協会の一員として、自己研鑽に努め役割を果たしてまいりたいと思います。このたびは、誠にありがとうございました。

樹心台 地域ケア科長 清 田 政 勝

このたびは、思ってもいなかった賞をいただきありがとうございました。通所リハビリやソーシャルワーカー、ケアマネジャーの連絡会にも積極的に参加させていただき、最新の情報交換ができた事や、それ以上に各事業所のスタッフさんとより良い関係が築かれた事に感謝したいと思います。今後もご利用者さんを中心に本当のニーズが充足出来る様に更に研鑽していきたいと思っています。

平成28年度 全国老人保健施設協会会長表彰受賞者



アメニティゆうりん 看護部長
平 上 祥 子

この度は、老人保健施設協会より表彰頂きありがとうございました。

思い起こせば看護師として働かせていただき50有余年が過ぎ、気がつけば私自身も後期高齢者の仲間入りを果たしておりました。

看護師として働きだした当初は急性期病院に勤務していましたが、縁あって老人保健施設にて働かせて頂き今年で18年目を迎えております。

ご利用されておられる方々と同世代であるという強みを生かし、今後も精一杯看護師として尽力できればと思います。



リバーサイド御薬園 管理栄養士
平 田 利 美

この度は名誉ある賞を頂きまして、誠にありがとうございます。

このように表彰を受けられたのは、陰になり日向になりながら導いて下さった先生方や職員のお蔭であると身に染みて感じています。

さて、当施設では、その場で見て選ぶ選択メニューを実施しています。それは、利用者の楽しみの1つになっています。

今後も利用者にとって楽しい食事の提供と栄養状態が良好に保てられるよう、食を通して支援していきたいと思います。

平成28年度 熊本県老人保健

やすらぎ苑 看護科長 中 村 美 子

この度は、熊本県老人保健施設協会会長表彰を受賞できまして、心より感謝申し上げます。感謝の喜びで胸が一杯です。これを機に今まで以上にサービスの質の向上につとめ、人材育成、スキルアップを目標につとめて参ります。これからも、当苑並びに熊老健施設協会が益々発展して行くよう、頑張る決意です。

やすらぎ苑 介護福祉士 柏 木 さえ子

この度は熊本県老人保健施設協会会長表彰を受賞出来ました事を、心より感謝申し上げます。喜びと感謝の気持ちで一杯です。これまで導いて下さった上司や同僚、そして家族があつて受賞出来たものと痛感しております。

これまで以上に、介護福祉士としての自覚と誇りをもって利用者様に寄り添い、人材育成及び、自己のスキルアップを目標に精進して参ります。

これからも、当苑並びに熊老健施設協会が益々発展して行く様、微力ながら頑張る決意です。

やすらぎ苑 介護福祉士 下 川 祐 子

この度は熊本県老人保健施設協会会長表彰を受賞できました事を心より感謝し御礼申し上げます。

ここまで来れ、受賞でき現在に至るのもこれまでに御指導して下さいました職場の上司の方々又は同僚の方々、家族のお蔭だと感謝しております。

これを機会にこれまで以上に仕事に専念し立派な介護福祉士という職種に誇りを持ち人材育成にも努めて参りたいと思っています。

これからも当苑並びに熊本県老人保健施設協会が益々発展して行くように頑張りたいと思う所存であります。

阿房宮 副介護長 林 孝 昌

今回、熊本県老人保健施設協会会長表彰を頂きこころより感謝申し上げます。改めて介護に携わった15年を振り返りますと右も左も解らなかった自分を支えてくれたスタッフや、やりがいのある職場があつてこそ現在の自分に至る事を強く痛感しました。これからも周囲の支えに感謝しながら、自分の役割を精一杯果たし、当施設並びに熊本県老人保健施設協会の益々の発展に尽力する所存です。誠にありがとうございました。

阿房宮 介護職リーダー 佐 伯 耕 一

今回この様な素晴らしい賞を頂き、心より感謝申し上げます。学生時代に柔道という一つの競技に打ち込み、何も知らない私を現在の施設で働かせて頂き、老健の楽しさ・難しさ・やりがいを感じられるのは、施設長をはじめスタッフ全員のおかげだと思っています。また、県老健協会、研修企画委員会の委員として、会長協会スタッフの皆様には日頃より大変お世話になっております。今後も努力を惜しまず頑張りたいと思います。



受賞者の皆さん

設協会会員施設



- ④⑧清風苑 玉名郡和水町上板楠1697-1 0968-34-3700
- ④⑨平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770
- ⑤⑩星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717
- ⑤⑪てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214-15 0968-71-5600
- ⑤⑫幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105

- ⑤⑬希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100
- ⑤⑭山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町313 0968-43-4370
- ⑤⑮太陽 山鹿市鹿本町津袋654-1 0968-46-6111

- ⑤⑯サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656
- ⑤⑰桜の里 合志市須屋702 096-343-8377
- ⑤⑱おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500
- ⑤⑲ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100
- ⑥⑰孔子の里 菊池市泗水町福本904-1 0968-38-5666
- ⑥⑱リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺123 0968-23-7721
- ⑥⑲有隣 合志市野々島字東原4414-17 096-242-5050

- ⑥⑳阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500
- ⑥㉑愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105-1 0967-32-5511
- ⑥㉒おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742-1 0967-46-6111
- ⑥㉓リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2 0967-64-8000

- ⑥㉔彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222
- ⑥㉕ライフライト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110
- ⑥㉖御船清流園 上益城郡御船町御船1062-1 096-282-1616
- ⑥㉗平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139-1 096-286-0666
- ⑥㉘ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788
- ⑥㉙ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777

- ⑦③八祥苑 八代市氷川町早尾1097 0965-62-4818
- ⑦④ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700
- ⑦⑤向春苑 八代市大福寺町2411-1 0965-33-8660
- ⑦⑥アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880
- ⑦⑦かがみ苑 八代市鏡町塩浜11-235 0965-30-4000
- ⑦⑧皇寿苑 八代市高島町4218 0965-33-5545
- ⑦⑨とまと 八代市郡築1番町180-1 0965-37-3737

- ⑧①やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621
- ⑧②白梅の里 水俣市浜4098-18 0966-63-3888
- ⑧③新清苑 芦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727-1 0966-61-3055

- ⑧④サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840
- ⑧⑤リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811
- ⑧⑥山江老人保健施設 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800
- ⑧⑦シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288
- ⑧⑧タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551
- ⑧⑨愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586
- ⑧⑩もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

●は平成29年度ブロック代表者施設です。



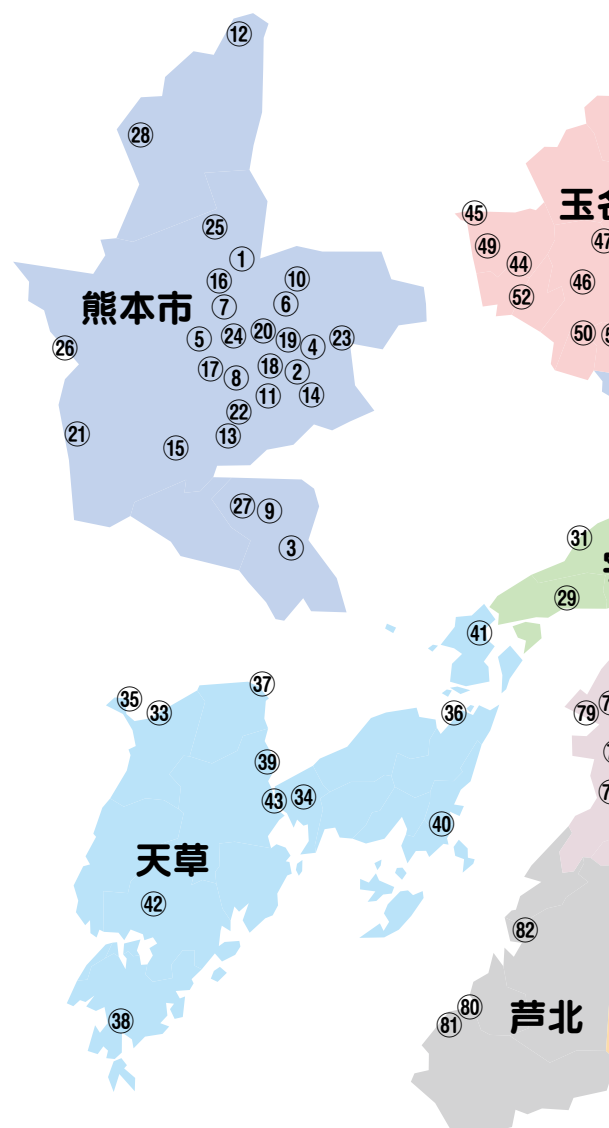
熊本県老人保健施

- ①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8-1 096-345-8112
- ②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3-12 096-384-8088
- ③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811
- ④おとなの学校本校 熊本市東区三郎1丁目12-30 096-385-6262
- ⑤青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21-10 096-359-5377
- ⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内1-3-20 096-337-1111
- ⑦杏の里 熊本市西区池田1丁目14-78 096-351-2788
- ⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11-1 096-371-5111
- ⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000
- ⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3-70 096-337-2700
- ⑪湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15-30 096-371-4165
- ⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700
- ⑬ぼたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8-1 096-370-1222
- ⑭第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8-8 096-360-3111
- ⑮白藤苑 熊本市南区白藤5-1-1 096-358-7200
- ⑯みつぐ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123
- ⑰のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7-18 096-371-3399
- ⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目2-22 096-384-3399
- ⑲メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10-112 096-387-8181
- ⑳フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁目1-37 096-363-0101
- ㉑なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666
- ㉒田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2-2 096-378-2223
- ㉓ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737
- ㉔なでしこ 熊本市中央区北千反畑町2-5 096-343-7450
- ㉕かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788
- ㉖葵の森 熊本市西区松尾町近津1480番地 096-311-4004
- ㉗ゆずりは 熊本市南区城南町高1099 0964-28-6311
- ㉘ひらた苑 熊本市北区植木町平原212 096-272-5486

- ㉙青海苑 宇城市三角町郡浦739-8 0964-54-1311
- ③〇あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211
- ③①景雅苑 宇土市上網田町3676 0964-27-17086
- ③②なごみの里 下益城郡美里町堅志田192-1 0964-47-6011

- ③③慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278-10 0969-37-1567
- ③④本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090-1 0969-24-3331
- ③⑤臥龍園 天草郡苓北町富岡3273番地2 0969-35-1530
- ③⑥松朗園 上天草市松島町今泉32-1 0969-56-3111
- ③⑦ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112
- ③⑧ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62-1 0969-72-6072
- ③⑨天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111
- ④〇きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 0969-62-1123
- ④①ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110
- ④②ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778-3 0969-76-1808
- ④③夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

- ④④聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772-10 0968-78-5521
- ④⑤慈眼苑 荒尾市増永708-2 0968-64-1018
- ④⑥樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165
- ④⑦ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666



熊本市ブロック 18

シルバーピア水前寺

熊本市中央区水前寺5-2-22

TEL 096-384-3399 FAX 096-385-9782

入所定員：72名 通所定員：60名



当施設は平成9年11月に、熊本市水前寺の東野病院（現、水前寺とうや病院）に隣接して開設されました。

当施設の建物面での最大の特徴は、病院と一体化していることです。老健棟（4階建て）の1階が通所リハと入所部門の食堂・リハ室、3・4階が入所居室になっていて、2階は病院のリハ室になっています。1・2階が病院と繋がっていますので病院と連携がとりやすく、入居者・家族また老健スタッフの安心感につながっています。

運営面では、とうや病院グループ全体の基本理念である「個人の尊重」～For You～」を軸として、全職員で個別ケアの充実に取り組んでいます。その一環として多職種協働（チームケア）を実践していて、その取り組みを全国老人保健施設大会で発表しました。また個別ケアの延長として看取りも多く、年間10名程度の方に最後まで寄り添い、お見送りさせていただいています。

熊本市ブロック 17

のぞみ

熊本市中央区本荘3-7-18

TEL 096-371-3399 FAX 096-371-3505

入所定員：74名 通所定員：30名



平成9年1月に開設し、入所74名 通所30名で、今年20周年を迎えました。開設当時は、介護保険制度もなく、現在と比べ身体的にお元気な方たちが多く、高齢者のサークルのような雰囲気もあった気がします。

当施設の特徴は、文字通り病院の併設であること。扉の向こうは救急病院です。このため老健で体調不良になられた時は、ストレッチャーでそのまま医療・治療を受ける所へスムーズに移動できます。

病院併設の老健は県内にも多くありますが、ここまで直でつながっている所は少ないのではないかと思います。老健入所に当たっては、ご本人はもとより、ご家族からもスムーズな医療連携の利点として、安心感の底上げになっているように感じます。昨年の地震でも、建物に大きな被害はなく、直後は緊急で3名の方を受入れ、入所者の皆様と共に過ごしました。

今後も20年間の経験を生かし、今、この時に求められる老健としての役割を実行していきたいと思っています。

宇土ブロック 31

景 雅 苑

宇土市上綱田町3676

TEL 0964-27-1708 FAX 0964-27-1023

入所定員：50名 通所定員：50名



景雅苑は、宇土市の西部に位置する上綱田町に、平成9年開設しました。有明海に面した立地から、晴天時には対岸の雲仙岳を一望でき、すぐそばには日本の渚百選に認定されている御輿来海岸がある、自然豊かな環境です。

当施設では、理学療法士3名、作業療法士3名を配置し、リハビリテーション会議を通して、ご利用者の活動と参加に着目したりハビリに取り組んでいます。

また、在宅強化型老健として平成25年より地域のニーズに応じて在宅復帰のお手伝いをしてきた結果、在宅復帰率65%以上を維持している状況です。

在宅復帰後も地域のご利用者が安心して生活できるよう、同一施設内の居宅介護支援事業所、訪問リハビリテーションをはじめ、「みどりかわクリニック」を母体とし、通所介護、訪問介護、訪問看護、小規模多機能施設、住宅型有料老人ホームの事業運営を行っています。



球磨ブロック 86

シルバーエイト

球磨郡多良木町大字多良木4210

TEL 0966-42-5288 FAX 0966-42-6670

入所定員：90名 通所定員：50名



当施設は熊本県南部球磨盆地にあり、自然豊かな地域に球磨郡公立多良木病院の併設施設として平成6年に開設いたしました。病院併設型であるため、医療依存度の高い方の受け入れもおこなっております。

経営母体となる多良木病院企業団の付属として地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、在宅医療センター、総合健診センターがあり包括的な医療保健福祉提供の要として機能しており、当施設は在宅復帰にあたりさまざまな方面での支援が可能です。

当施設はご利用者様とご家族様の快適な日々のために常に質の高い介護サービスを提供し、ご利用者お一人お一人にあわせたケアサービスを、医師をはじめ各職種の専門のスタッフが連携して支援いたします。また住民の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、出前講座や定期的な家族介護教室などを開催し、地域に開かれた在宅ケアの拠点となることを目指し、日々努めております。



玉名ブロック 48

清風苑



村の福祉関係機関と連携・交流を図りながら、職員一同、質の高いケアをご利用者様に提供できるよう努力しております。

当苑は、医学的管理に基づく適切な看護、理学療法士、作業療法士による在宅復帰を目的としたリハビリテーションの提供と自立支援、認知症ケアに特化した専門棟を設けることで、一人一人に合わせた幅広いケアを提供し、総合的な心身の機能改善の支援に努めています。また、ご利用者様に寄りそう心を忘れずに、地域に愛される施設を目指しています。

玉名郡和水町上板楠1697-1

TEL 0968-34-3700 FAX 0968-34-3722

入所定員：78名 通所定員：76名

当苑、医療法人社団 清風会 介護老人保健施設 清風苑は、豊かな緑に囲まれた熊本県の北部に位置し、マラソンの父である金栗四三氏のふるさとにある施設です。平成9年に創立し、今年20年を迎えます。

地域に根ざし、地域包括ケアシステムの中核となる老健施設を目指してきました。基本理念である「すべてはご利用者様のために」をスローガンに地域の方々を始め、近隣する各市町



天草ブロック 41

ほんごう苑



スペースです。60床のうち20床が認知症専門棟で、回廊式になっており、自由に歩き回っても安全が保てるよう配慮されています。

また、居宅介護支援事業所を併設し、特別養護老人ホームが隣接します。

このような特徴を活用し、人材育成や地域貢献等についても老健としての役割を果たすべく努力していきたいと思えます。

上天草市大矢野町登立8607番地

TEL 0964-56-5110 FAX 0964-56-5118

入所定員：60名 通所定員：40名

介護老人保健施設ほんごう苑は、上天草市大矢野町のやや中央に位置し、見晴らしのいい風光明媚な高台にある、鉄筋コンクリート3階建ての施設です。平成9年3月にオープンし20周年を迎えます。

天草らしい緑に囲まれた環境の中、利用者が「にこやか」「個性豊かに」過ごすことができるよう職員が支援しています。1階にはデイケアセンターがあり、通所の利用者とも顔馴染みの関係ができ、話が弾みます。2階、3階が老健入所者の療養



1日目

- I. 老健の歴史と将来のあり方
II. 「老人保健施設のケアのあり方」ーケアに向き合う姿勢ー
III. クレーム対応の実際
IV. グループワーク

講師：熊本県老人保健施設協会 会長 山田和彦氏
講師：山本満壽子氏(高知県)
講師：宮崎県老人保健施設協会 会長 櫛橋弘喜氏

2日目

- I. 高齢者の特徴と身体管理
II. 生活リハビリテーションの視点
III. 摂食・栄養管理について
IV. チームケアについて
V. 震災時の各施設のできごと

講師：リバーサイド御薬園 統括管理部長 梅田三智代氏
講師：清雅苑 理学療法士 當利賢一氏
講師：白藤苑 栄養管理部長 田尻誠子氏
講師：あさひコート 施設課長 中嶋健一氏

清雅苑 理学療法士 當利賢一氏
桔梗苑 介護主任 田上育美氏
白藤苑 栄養管理部長 田尻誠子氏
あさひコート 施設課長 中嶋健一氏
桜の里 管理栄養士 土野千佳氏
アメニティゆうりん リハビリテーション課部長 本村清隆氏

VI. グループワーク

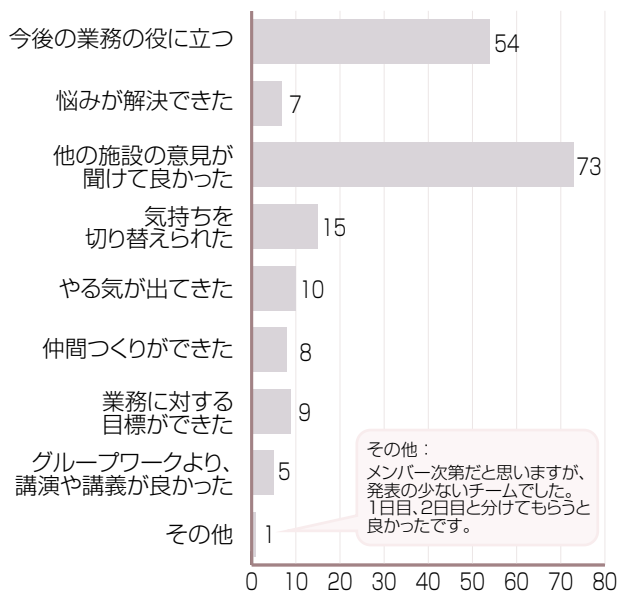
アンケート結果



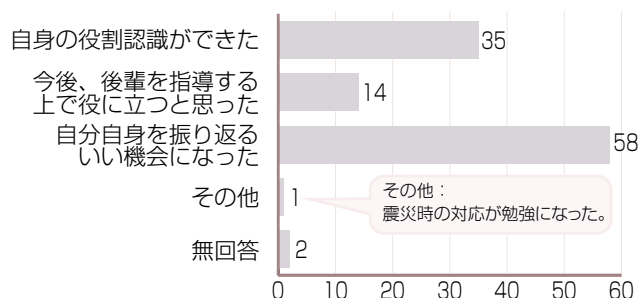
【参加者の所属・職種】

	介護職	看護職	PT・OT・ST	支援相談員	(管理)栄養士	ケアマネ	事務	その他	無回答
入所	37人	7人	2人	2人	1人	0人	0人	0人	1人
通所	11人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人
その他	0人	0人	2人	0人	1人	1人	2人	0人	0人
無回答	4人	2人	2人	0人	1人	1人	0人	0人	0人

【グループワークについて】



【2日間の研修を受講して】



【研修会の内容について(感じた事・学んだ事)】

- クレーム対応の実際は参考になりました。自分も体験していますが小さなクレームでも早目の対応を行い、家族と密にコミュニケーションをとることが大切であると再認識することができました。
- 他職種間との連携が非常に大切だということ。一人でも多くの人を自宅へ帰って頂くように自立支援に力を入れたいと思いました。
- 今までのケアの見直しになったし新しい事も学べました。震災時の対応も今後の為にしっかり身に付けておくべきだと思いました。
- 理念や役割を理解し業務につく事、多職種で情報を共有し観察力を身に付け、今後の業務に活かしていく事が大切だと感じました。
- 老健施設のあり方や回転率など違った方向から学ぶことで、利用者様一人一人の目標をより明確にし、在宅復帰を増やしたい。
- 普段の業務で意識せずに行っている事がとても大切な事だと再認識できました。今まで何となく出来ていた事を意識して実施していきたい。老健は在宅に向けケアを行う施設であると改めて確認できた。リハビリの視点をもったケアをチームで伝えるようにしたいと思いました。
- 地震の体験談を聞いて、備えは大事であると思いました。
- 今回の研修を自分の施設と照らし合わせながら勉強させて頂きました。普段の業務の中で気付かなかった点や、自分の施設に取り組みたい内容が含まれており、とても参考になりました。コールの対応、報告、伝達など業務の見直しができる良い機会となりました。
- 老健の本来の在り方についての知識を得ることで、入居者様との関わり方やこれからの業務のとりくみについての指標とする事ができました。
- 新人からベテランまで、又、色々な職種が集まって様々な目線からの意見などを聞けて非常に得るものが多かったです。さっそく現場で活かしていきたいと思います。

平成28年4月～平成29年3月

会 合 名	期 日	内 容	参加数
玉名・鹿本・菊池ブロック (合同) 玉名：9施設 鹿本：3施設 菊池：7施設			
担当者会議	5月23日(月)	○H27年度活動報告 ○H28年度各活動計画 ○活動報告、活動計画の意見交換 ○活動計画・報告の手順について ○その他意見交換	14名
事務管理部会	8月26日(金)	○「くまもと地域創生人材育成プロジェクト」熊本県労働雇用創生課 ○施設運営における諸問題○熊本地震における各施設の被害状況及び他施設からの受け入れ状況	17名
看護・介護部会	7月21日(木)	○①H28年度看護介護責任者(連絡会担当者)の確認②H28年度活動計画③活動計画についての確認・意見交換 ○研修会「認知症」	37名
	11月17日(木)	○研究発表 ○質疑応答	52名
	1月23日(月)	○「介護予防体操～レクを含めて～」Re学川畑智氏	33名
	2月16日(木)	○平成28年度の活動報告 ○平成29年度の活動計画(案) ○平成29年度連絡担当施設・副連絡担当施設の提案と承認 ○平成29年度の研究発表会施設の確認 ○責任者確認 ○感染症の発生状況と取り組みについての意見交換 ○看取りについての意見交換 ○人材確保についての取り組み・困難例についての意見交換 ○在宅復帰についての取り組み・困難例についての意見交換 ○災害対策の取り組み・意見交換 ○新責任者の紹介	17名
支援相談・ケアマネ部会	7月 8日(金)	○ブロック代表担当者会議の報告 ○情報交換会 ○施設見学	28名
	2月17日(金)	○情報交換 ○次年度連絡会について	30名
栄養部会	7月21日(木)	○講義「在宅での栄養改善の取り組みにあたって」 ○質疑応答 ○施設見学	12名
	10月20日(木)	○事例紹介 ○各施設の状況について情報交換 ○施設見学	14名
	2月20日(月)	○「高齢者の水分管理・排便コントロールについて」ネスレ日本(株)早乙女泰教氏 ○平成28年度活動報告及び平成29年度活動計画 ○意見交換	11名
リハビリ部会	7月28日(木)	○H28年度活動計画案報告 ○熊本地震による各施設の状況と対応 ○今年度の計画 ○復興リハや地域密着リハセンターに対する各施設の対応や考え ○今後のリハビリ連絡会担当の選択方法 ○交流会の検討	17名
	9月29日(木)	○アンケート結果報告 ○グループワーク	19名
	11月24日(木)	○施設説明 ○施設見学 ○情報交換会	21名
	3月 1日(水)	○研修会「リハ栄養」 ○情報交換会 ○その他連絡会	36名
通所リハ連絡会	8月19日(金)	○講演「認知症について」講師：小野薬品工業(株)前田賢司氏 ○情報交換 ○施設見学	24名
	11月18日(金)	○研究発表 ○情報交換 ○施設見学	35名
	2月17日(金)	○平成28年度活動報告及び平成29年度活動計画 ○情報交換会 ○施設見学	18名
八代・芦北ブロック (合同) 八代：7施設 芦北：3施設			
事務管理・支援相談部会	5月27日(金)	○熊本地震に関して状況、対応について意見交換 ○災害発生時の備え ○負担限度額認定更新申請について	19名
	10月19日(水)	○「くまもと地域創生人材育成プロジェクト」熊本県労働雇用創生課 ○情報交換 ○八代保健所からのアンケート(八代地区のみ)	10名
看護・介護部会	6月24日(金)	○転倒・転落事故防止についての介護施設における原因や具体的な対策事例についての説明 ○他施設へ聞いてみたいことについて	21名
	11月25日(金)	○感染対策について工夫していること、困っていること ○次回開催について	20名
栄養部会	11月11日(金)	○ノロウイルス食中毒予防講習会の復命報告 ○熊本地震時の栄養課内の対応 ○非常食の内容や保管場所 ○嚥下食 ○経口維持加算について	4名
リハビリ部会	5月20日(金)	○H28年熊本地震について ○加算型老健施設に向けての取り組みについて	16名
	11月18日(金)	○施設紹介 ○平成28年度実地指導について ○被災地でのリハビリボランティアについて ○震災による介護保険変更申請について ○施設における防犯対策について ○通所リハビリについて	12名
球磨ブロック 球磨：7施設			
全体会議	7月15日(金)	○各委員会の活動回数 ○H28年度全体会議について ○交流会の内容について	29名
	9月27日(火)	○介護ロボット体験研修 ○協力業者 ○研修を終えて	63名
事務管理部会	11月30日(水)	○くまもと地域創生人材育成プロジェクトについて ○介護アシスタントについて	16名
看護・介護部会	9月 9日(金)	○困難事例についての意見交換 ○認知症利用者への対応事例の意見交換 ○事故対策についての意見交換 ○その他	9名
	12月 9日(金)	○親睦会について ○記録整備について	7名
栄養部会	10月 6日(木)	○食事提供における熊本地震の対応と今後の課題 ○第2回栄養部会の活動について	6名
	2月17日(金)	○摂食嚥下障害について ○実地指導報告・情報交換 ○次年度代表施設について	6名
リハビリ部会	3月17日(金)	○実地指導報告 ○平成28年度の反省 ○情報交換	11名

※平成29年3月末日までに報告書が届いた分です。

ブロック職種別活動の報告

会 合 名	期 日	内 容	参加数
熊本市ブロック 熊本：28施設			
事務管理部会	10月 7日(金)	○熊本地震の対応と実地指導 ○「熊本地域創生人材育成プロジェクト」熊本県労働雇用創生課 ○熊本地震からの学びリスクマネジメントの観点から ○補助金活用した設備更新セミナー案内	31名
	3月 6日(月)	○「H28年度実施指導後の報告及びH29年度介護報酬改定介護職員処遇改善加算取得に向けて」 熊本市高齢介護福祉課大川望氏 ○「介護予防・日常生活支援総合事業について」熊本市高齢介護福祉課坂元宏明氏	39名
看護・介護部会	5月28日(土)	○H28年度県老健年間計画 ○担当施設研修会確認 ○情報・意見交換	34名
	11月26日(土)	○講演「その命救えますか?～緊急時の対応とその方法～」 ○AEDを使用し実技講習○質疑応答	38名
支援相談部会	11月15日(火)	○福祉避難所についてGD・発表 ○地域包括ケアシステム構築の為にアンケート調査についてGW、第1次調査票について各グループで 協議・発表 ○業務連絡	35名
栄養部会	7月27日(水)	○事例発表「老健施設における危機管理」講師：メディエイト鶴翔苑管理栄養士高野未佳氏 ○非常用食品紹介(株)翔葉江崎雅子氏 ○GD「各施設の危機管理について」	18名
	1月25日(水)	○「チルド食材を使用した厨房運営のポイント」(株)ナリコエンタープライズ梶原祐平氏 ○グループディスカッション「嚥下食の栄養管理について」	13名
リハビリ・通所リハビリ部会	2月22日(水)	○「平成30年度介護保険改正とこれからの生活期リハビリテーション」清雅苑副施設長野尻晋一氏 ○質疑応答 ○来年度以降のリハ・通所リハ部会の運営について	90名
宇城・阿蘇・上益城ブロック (合同) 宇城：4施設 阿蘇：4施設 上益城：6施設			
事務管理部会	10月14日(金)	○「くまもと地域創生人材育成プロジェクト」熊本県労働雇用創生課 ○実地指導内容報告 ○熊本地震について	18名
	12月 2日(金)	○実地指導内容報告 ○情報交換	17名
	3月 3日(金)	○H28年度実地指導報告 ○その他意見交換 ○次回幹事施設の確認、次年度計画	17名
看護・介護部会	3月11日(土)	○研究発表 ○来年度活動計画・担当施設確認	32名
支援相談部会	7月15日(金)	○熊本地震の影響について ○その他 ○施設見学	17名
	11月18日(金)	○実地指導内容報告 ○熊本地震、その後の対応等 ○意見交換	15名
栄養部会	11月10日(木)	○実地指導について ○熊本地震による被災状況について	13名
	2月22日(水)	○「嚥下調整色学会分類2013に基づくとろみの使い方について」(株)フードケア平林誠氏 ○意見交換	11名
宇城・上益城ブロック (合同) 宇城：4施設 上益城：9施設			
リハビリ部会	8月26日(金)	○質疑応答及び情報交換	11名
天草ブロック 天草：11施設			
世話役会	5月17日(火)	○H27年度事業報告及び収支報告 ○H28年度天草ブロック長、世話役の選任 ○H28年度事業計画と予算 ○活動手順 ○震災について意見交換	14名
事務管理部会	4月21日(木)	○H28年熊本地震対応について	8名
	5月17日(火)	○H27年度事務管理部会活動報告 ○H28年度事務管理部会事業計画	6名
	12月15日(木)	○「くまもと地域創生人材育成プロジェクト」熊本県労働雇用創生課 ○H28年実地指導について ○介護アシスタント事業について	8名
看護・介護部会	6月16日(木)	○マニュアルについて ○環境整備について ○スタッフ教育について ○多職種連携について	34名
	8月18日(木)	○研修会「人生の最終段階での家族への関わりについて」講師：苓北クリニック院長倉本剛史先生 ○質疑応答 ○アンケート	41名
	10月20日(木)	○研究・事例検討会 ○感想	29名
	2月16日(木)	○「身体拘束をしない取り組み」 ○年間計画 ○研究・事例検討会 ○今年度の反省 ○来年度の計画 ○その他	13名
支援相談部会	6月9日(木)	○研修会「2016年診療報酬改定の概要と在宅部門との関係について」 講師：天草慈恵病院地域医療連携室藤崎和寛氏 ○意見交換会「H28年熊本地震について」	11名
	12月15日(木)	○研修会 ○意見交換会 ○情報交換等	13名
栄養部会	9月20日(火)	○講演「摂食嚥下のしくみと体験」講師：ネスレ日本(株)九州支店MR山田尚吾氏 ○質疑応答 ○意見・情報交換	12名
リハビリ部会	6月15日(水)	○本年度の計画 ○介護保険改定に向けての取り組み ○症例報告	11名
	12月7日(水)	○実地指導についての情報交換 ○症例報告 ○情報交換	9名
	3月1日(水)	○本年度の反省と来年度の計画について ○症例報告 ○情報交換、その他	8名
通所リハ部会	6月17日(金)	○通所リハビリ計画書モニタリング(評価)記入方法等について	6名
	11月18日(金)	○通所リハの1日の流れについて ○意見交換	7名

原稿募集

「ろうけん熊本」では紙面の充実の為、老健施設職員の皆様からの様々な情報、写真等を随時募集しております。

応募してもいいと思われる方は、このページを切り取るか、コピーなどで送信ください。簡単な内容をお知らせください。後日、広報委員からご連絡差し上げます。

FAX送信票

<送信先> FAX 0966-26-3680 熊本県老人保健施設協会 事務局 広報委員 行

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ☐ ペット自慢 () | ☐ うちのイケメン職員紹介 |
| ☐ 施設の活動について | ☐ 施設の人気の料理メニュー |
| ☐ 行事の記事や写真 | ☐ レクリエーション紹介 |
| ☐ 研修の感想 | ☐ 旅行記 |
| ☐ うちの地域の自慢や祭り紹介 | |
| ☐ その他 () | |

[施設名]

[お名前]

[ご連絡先] TEL

FAX

メールアドレス

※申し込多数の場合は、ご連絡が遅くなる場合がございますのでご了承ください。

編集後記

平成28年4月に起きました熊本地震から早1年経ちました。

熊本地震の際には県内はもとより各都道府県からも様々なご支援をいただきありがとうございました。熊本では今もまだ復旧・復興にむけて尽力されている施設もあります。一日でも早い復旧・復興出来るよう心よりお祈り申し上げます。今年は大きな災害が起きないよう願うばかりです。

熊本県老人保健施設協会 事務局 立山

広報委員

土肥 英樹(サンライフみのり)
後藤 健(青海苑)
高森 由紀(希望の園)

岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター)
金子 俊弘(あさひコート)
立山奈津美(協会事務局)

印刷:シモダ印刷株式会社

